

I 研修目標

一般目標 GIO

産婦人科疾患の初期診療をおこなえるために、婦人科臓器や妊娠に関連した病態を理解し、女性特有の疾患であることに配慮しつつ、産婦人科診療における基本的診断・治療の技能を習得する。

行動目標 SBO

1. 女性生殖器を診察する上での十分な配慮ができる。
2. 妊娠・月経等の産婦人科に関連した詳細な情報を得られる。
3. 腔鏡診、内診・直腸診の技能を習得し、所見を得られる。
4. 腔内、子宮頸管内、子宮腔内の適切な部位から検体を採取することができる。
5. 子宮鏡検査を施行し、所見を得られる。
6. 経腔超音波断層検査を施行し、所見を理解できる。
7. 経腹超音波断層検査を施行し、胎児、胎盤等の所見を説明できる。
8. 正常妊娠・分娩経過を理解し、異常を指摘できる。
9. 異常妊娠の管理ができる。
10. 胎児心拍数モニタリング所見を理解し、適切に判断できる。
11. 正常分娩の取り扱い、会陰切開・縫合術ができる。
12. 帝王切開術および婦人科手術の助手を務められる。
13. 妊娠判定を施行し、子宮外妊娠の可能性を判断できる。
14. 性感染症・骨盤内炎症性疾患の診断と治療法が理解できる。
15. 婦人科緊急疾患の診断と治療法の選択ができる。
16. 婦人科良性病変の診断、悪性疾患との鑑別や手術適応を判断できる。
17. 婦人科悪性腫瘍の診断・治療法を理解し、治療方針の議論に参加できる。
18. 化学療法を施行し、有害事象に対応できる。
19. 終末期医療に参加できる。

II 研修方略

(6週間の研修期間)

病棟で入院患者や緊急患者の診療、分娩管理を行う。婦人科と産科とも上級医、指導医よりなるチーム医療制であり、その指導の下に主体的に診療を行う。婦人科3週間、産科3週間で研修を行う。適宜、シミュレーター等を使用する。

1. 新規入院患者・緊急患者の診療（問診、診察、検査計画、検査結果評価、治療方針検討、処置・検査の実施）
2. 既入院患者の診療
3. 術前・術後管理
4. 手術助手（婦人科手術、帝王切開術など）
5. 分娩管理（分娩経過・胎児心拍数モニタリング評価、会陰切開・縫合術実施）
6. カンファレンス（プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーション実施）
7. 抄読会、輪読会

(12週間の研修の場合追加される項目)

- 1 2週間の研修では6週と比較し、すべての項目において研修を深化させる。婦人科6週間
産科6週間で研修を行う。

8. 手術執刀（開腹術、帝王切開術）
9. 悪性腫瘍新規患者の診療（問診、診察、検査計画、検査結果評価、処置・検査の実施、治療方針立案）
10. 母体搬送受け入れ（問診、診察、検査計画、検査結果評価、処置・検査の実施、治療方針立案）

週間予定

婦人科

月 火 水 木 金 週末適宜

午前 手術、新規入院受け入れ、病棟処置、抄読会、新規入院受け入れ、病棟処置、病理診断検討会、手術、病棟処置手術または病棟処置、病理診断検討会、子宮鏡検査病棟処置

午後 手術または病棟処置、教授回診、症例検討会、術後管理、病棟処置、子宮鏡検査手術または病棟処置手術、子宮鏡検査、病棟処置、新規入院受け入れ研究会など

夕方 術後管理、回診・症例検討会準備、画像診断検討会、放射線治療検討会、インフォームドコンセント、術後管理、腫瘍グループミーティング（クルズス）

産科

月 火 水 木 金 週末適宜

午前 新規入院受け入れ、病棟処置抄読会、病棟処置

病理診断検討会、病棟処置新規入院受け入れ、病棟処置病理診断検討会、病棟処置

午後 病棟処置、回診・症例検討会準備、教授回診、症例検討会、病棟処置 病棟処置、帝王切開術、病棟処置 研究会など

夕方 NICU症例検討会輪読会 分娩時モニター検討会術後管理、産科グループミーティング（クルズス）

※適宜、分娩管理・帝王切開術を施行する。

※適宜、緊急母体搬送に対応する。

III 評価

研修中の評価（形成的評価）

いずれも指導医が評価し、直ちにフィードバックを行う。

1. 新規入院患者受け入れの際に、問診・診察の態度や技能の評価を行う。
2. カンファレンス準備の際に、知識の評価を行う。
3. 手術助手、分娩管理での態度や技能・知識の評価を行う。

研修後の評価

（形成的評価）

研修終了後にEPOC に研修医が入力した自己評価を元に指導医が評価を入力する。提出さ

れたレポートは指導医が確認し、内容によって不備な点を指導し再点検を求める。

IV 指導医

研修責任者 塩沢 丹里

指導医（*指導医講習修了者）

*大平 哲史、*宮本 強、*岡 賢二、内川 順子、*鹿島 大靖、菊地 範彦、布施谷 千穂、*小原 久典、山田 靖、浅香 亮一、安藤 大史、樋口 正太郎、

井田 耕一、竹内 穂高、山田 諭

上級医

杉田 伶佳、内山 夏紀、藤森 美音、横川 裕亮、甲木 哲也、常見 浩司、
長井 友邦、長原 大二郎、矢崎 明香